

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【公開番号】特開2010-149947(P2010-149947A)

【公開日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【年通号数】公開・登録公報2010-027

【出願番号】特願2008-327006(P2008-327006)

【国際特許分類】

B 6 5 H 1/28 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 1/28 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月4日(2011.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

画像形成装置の格納位置に並設される一方の給紙トレイに配置された係合部材と、他方の給紙トレイに配置された被係合部材とを備え、係合部材と被係合部材とが係合可能な状態となり両給紙トレイを連結して一方の給紙トレイの引き出し力を他方の給紙トレイに伝達して両給紙トレイを連動して引き出せる連動状態、及び、係合部材と被係合部材とが係合せずとなり両トレイが分離してそれぞれの給紙トレイを独立して引き出せる分離状態に設定できる給紙トレイのロック装置において、前記係合部材と被係合部材とは、連動状態とされたとき一方の給紙トレイが収納状態から所定距離だけ引き出されたとき係合部材と被係合部材とが係合して引き出し力を他方の給紙トレイに伝達することを特徴とする給紙トレイのロック装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

請求項1の発明は、画像形成装置の格納位置に並設される一方の給紙トレイに配置された係合部材と、他方の給紙トレイに配置された被係合部材とを備え、係合部材と被係合部材とが係合可能な状態となり両給紙トレイを連結して一方の給紙トレイの引き出し力を他方の給紙トレイに伝達して両給紙トレイを連動して引き出せる連動状態、及び、係合部材と被係合部材とが係合せずとなり両トレイが分離してそれぞれの給紙トレイを独立して引き出せる分離状態に設定できる給紙トレイのロック装置において、前記係合部材と被係合部材とは、連動状態とされたとき一方の給紙トレイが収納状態から所定距離だけ引き出されたとき係合部材と被係合部材とが係合して引き出し力を他方の給紙トレイに伝達することを特徴とする給紙トレイのロックである。